



掲載日 2011年12月28日

JPE、林鍛造所の承継完了－自立成長を支援

日本プライベートエクイティ(JPE、東京都千代田区、法田真一社長、03・3238・1726)が、運営する事業承継ファンドを通じて所有していた林鍛造所(石川県かほく市)の発行済み全株式をハヤシ・ホールディングス(HD)に譲渡したことが分かった。林鍛造所はこれまで旧オーナー一族が経営し、ハヤシHDは親族の林浩市氏(林鍛造所現社長)らが今年設立した持ち株会社。JPEでは、林鍛造所が後継経営者不在を解消し、今後自立的な成長が見込めると判断したもようだ。

林鍛造所は1929年に創業し、主に建設機械に使う鍛造部品の製造・販売事業を展開する。年間売上高は約30億円。

経営者の後継者が不在が原因となる事業承継問題などの解消につなげるため、09年4月にJPEが運営する「JPE・プライベートエクイティ3号投資事業有限責任組合(JPE3号ファンド)」に全株式を譲渡した。